

法人（事業所）理念		「子ども一人ひとりの可能性を信じ、自発的な成長・学びを支える環境づくりを通して、地域社会とともに歩む」			
支援方針		・子どもが内発的な意欲をもって活動に取り組めるよう配慮し、個々の特性・ニーズに応じた「用意された環境」を整えます。 ・健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5つの領域を通し、総合的な支援を実施します。 ・家族や地域との連携を大切に、子どもの将来や生活環境の変化を見据えた支援（移行支援）を行います。 ・スタッフ研修を重ね、専門性や対応力を向上させ、質の高い支援を提供します。			
営業時間（下校後）		12 時 00 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	
営業時間（休校日）		9 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・衛生習慣の定着（手洗い、衣類の着脱練習等） ・日常生活動作(ADL)向上のためのサポート（個々に合わせた食事・排泄援助等） ・生活リズムづくり（登所・帰宅時のルーチン）			
	運動・感覚	・理学療法士の指導による感覚統合的活動（バランスボール、トランポリン等） ・粗大運動・微細運動発達支援（工作、ブロック遊び、遊びを通した運動等） ・身体表現活動（リズム運動、簡易体操）で身体イメージの確立			
	認知・行動	・モンテッソーリ教育の考え方に基づく自主選択活動（教具を用いた数概念・言語理解支援） ・絵カードや視覚支援によるスケジュール提示で予測可能性の確保 ・自己コントロール力、問題解決力を養うための課題提供			
	言語 コミュニケーション	・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通じた基本的な対話スキル獲得 ・絵本読み聞かせや対話型アクティビティによる語彙力や表現力の拡大 ・AAC（補助的・代替的コミュニケーション手段）の活用			
	人間関係 社会性	・小グループ活動を通じて、順番待ち、他者理解、協働性を学ぶ ・地域イベントへの参加、地域交流で多様な人々との関わりを経験 ・子ども同士の自由遊びから生まれる対人スキルの促進			
家族支援		・個別面談や保護者交流会、ペアレントトレーニング等の勉強会を通して、保護者が家庭で子どもの特性に合った環境調整や関わり方を実践できるよう支援します。 ・個別活動や集団活動でのご本人との関わりや観察からの気付きをお伝え（送迎時、連絡帳等）し、情報共有を図ります。 ・送迎時や連絡帳などでお聞きした悩みや課題に対し助言等行えるように努めます。 ・ご本人を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施します。			
移行支援		・学齢期には義務教育段階から次のステップ（中学・高校、社会参加）を見据え、生活力や社会的適応力を強化します。 ・卒業後を視野に入れ、地域の障害福祉サービス事業所や相談支援専門員等との連携を行い、将来の進路に関する情報提供を図ります。			
地域支援・地域連携		・地域の公園での活動や児童館との交流機会を創出し、ご本人が地域コミュニティとのつながりを感じられる場を提供します。 ・地域イベントへの参加や事業所内での地域ボランティア等による講座開催など、地域との共生を推進します。 ・他の障害児通所支援事業所との情報交換や研修参加を通して、地域内での後方支援的役割を果たします。 ・月に一度は外部の方との交流を行う事でインクルージョンを目指します。			
職員の質の向上		・定期的な事業所内研修（障害特性理解、応用行動分析の基礎、感覚統合、モンテッソーリ教育の理念と実践方法）を実施します。 ・外部研修やオンラインセミナーへの参加を促し、最新の支援方法や知見の習得を図ります。 ・職員間のケース検討会で、支援の質向上を目指します。 ・FBAを定期的に行う事で、職員の対応の質の向上、共有化を図ります。			
主な行事等		・季節行事（節分、七夕、ハロウィン、クリスマス会、農作物の収穫体験等）を通じた多様な体験 ・地域散策や遠足、社会見学での外出プログラム ・夏季・冬季休暇中の特別プログラム（プール遊び、雪遊びなどの季節体験）			